

山の温泉便り

湯本学区のふるさと交流情報誌

第3号

2017年12月15日
湯本学区ふるさと
交流実行委員会

山の温泉便り

第3号 2017年12月15日発行 発行者/湯本学区ふるさと交流実行委員会

事務局 西和賀町ふるさと振興課
岩手県和賀郡西和賀町川尻 40-40-71 TEL: 0197-82-2111



皆さんお元気ですか。第3号は晩秋号となりました。今年ふるさととも雨の日続きで、紅葉の時期も短く感じましたが、最後にはどこにもない四季の町、期待通りあてやかな山模様を見せてくれました。秋はなんといっても田畑の恵みがありがたいです。各地で収穫祭が賑わっております。今はお店で調達する食材が主流ですが、自分の田畑からのものは格別な存在感があります。たとえばB級品であってもまったくなく又一味違って美味しく感じたりしております。

11月19日、初雪がドカンとやって来て、また2度目の冬將軍のお出ましで30センチ以上の雪に山も里もすっかり冬化粧となっております。寒さつらさを思えば長い冬に感じますが、四季のめりはりが私たちの生活のリズムになっっているようです。寒さの中の寄り添う団欒は格別です。お正月もすぐそこです。白い世界へ足を運んではいかがですか？ほっかほかのおもてなしでお迎えいたしますよ。ふるさとへのお便りも楽しみにしております。

湯本学区ふるさと交流
実行委員会
会長 高橋 武男



湯本学区からのお知らせ

news!

今年これから開催される、地区や町の行事を紹介します。ぜひお越しください！



◆湯之沢裸まつり

旧暦12月12日夜、山の安全、豊作と無病息災を祈願する真冬の荒行として湯之沢地区に伝わる裸まつり。山祇神社に集まった男たちが、餅をつきあげ奉納し下帯姿のまま川に飛び込み身を清めます。

平成30年1月28日(日) 17:00頃～
場所：山祇神社(湯之沢32-17)



◆ほつとゆだ 2018 北日本雪合戦大会

全国から多くのチームが参加する雪合戦大会です。
「一般の部」「ミックスの部」「レディースの部」の3部門で開催します。

平成30年1月27日(土)～28日(日)
場所：西和賀町立湯田小学校グラウンド

湯本学区周辺の 空き家情報

vol.1



No.1 湯田

分類：売却
構造：木造2階建て
電気配線：あり
電話配線：あり
光回線：あり
水道：上水道/下水道
トイレ：水洗
周辺施設：県立西和賀高校まで徒歩1分
附属物：小屋・駐車スペース・畑

左草地区も

そろそろ冬

左草区長
熊澤 一夫さん

左草地区出身の皆さんお元気で
過ごしてようか。山の温泉便り3
号発行にあたり、今回左草の番とい



平成29年 あかりの小径

うことで現況を報告させて頂きます。
今原稿を作成中ですが、白いもの
がちらちらと舞い降りてきています。
いよいよ冬本番を迎えることになり
そうです。今シーズンほどの位降り
積もるのか気になるところです。
年明けには新年交賀会・歳祝い等
が予定されております。2月に入り
11日の祭日には、第1号のマップで
紹介した人形おくりが実施されま
す。又、今回写真を載せております
「雪あかり」に左草地区
の皆さんの参加を頂き「あかりの小
径パート22」を予定しております。
終了後は左草温泉「ゆう星館」にて
合同で行っております下前地区の皆
さんと一緒に慰労・反省会等を行っ
ています。是非一度見に来てくださ
い。お待ちしております。

十一月の下前

下前区長
岩井川 俊一さん

この頃の下前は、稲刈りも終わっ
て冬支度の準備をしています。今
年の秋も紅葉の「白糸の滝」を見物
に来られた方も大分多かった様で
す。米の作柄はやや不良でした。

さて、下前地区では十一月の恒例
行事に荷縄外しがあります。その日
は、用水路の点検、パイプラインの
泥吐け、雪囲いの作業をします。併
せて防災訓練、大根の品評会を行
い地区民の連携を高めています。特
にも大根の品評会では、大根の重さ、
形、美しさを審査して「おもいで賞」、
「おもしろいで賞」、「べっぴんで賞」
を選んで楽しんでおります。

また、昨年から有志の方の呼び掛
けでなめこの植菌をしました。この秋
には初めての収穫をし、なめこ汁を味
わいました。これからも地区の皆様で共



大根品評会の様子

通の想いを寄せて楽しみながら盛り
上げていきたいと思えます。
冬の「雪あかり」、「人形おくり」
には是非参加して下さい。お待ちし
ております。

湯本学区

出身者からの寄稿

遠い逝きし日の面影 思い出

一少女時代の懐かしき日々

湯田出身 高橋 義幸



私たちは、昭和33年4月に湯本小学校に入学しました。この写真は小学校4年
生か5年生の頃（今から約55年前）、下前の『白糸の滝』へ遠足に行ったときの
ものです。滝は写っていませんが、すぐ近くで撮ったものと思われます。

みんな、めんこく輝いています。まるで妖精のようです。

めんこかった私たちも順調に齢を重ね、何と65歳になりました。びっくりですね。

いくつになっても生まれ育った「ふるさと」は、とても懐かしく、ありがたい存
在です。優しく、大事に育ててくれた“母”のようにも思えます。

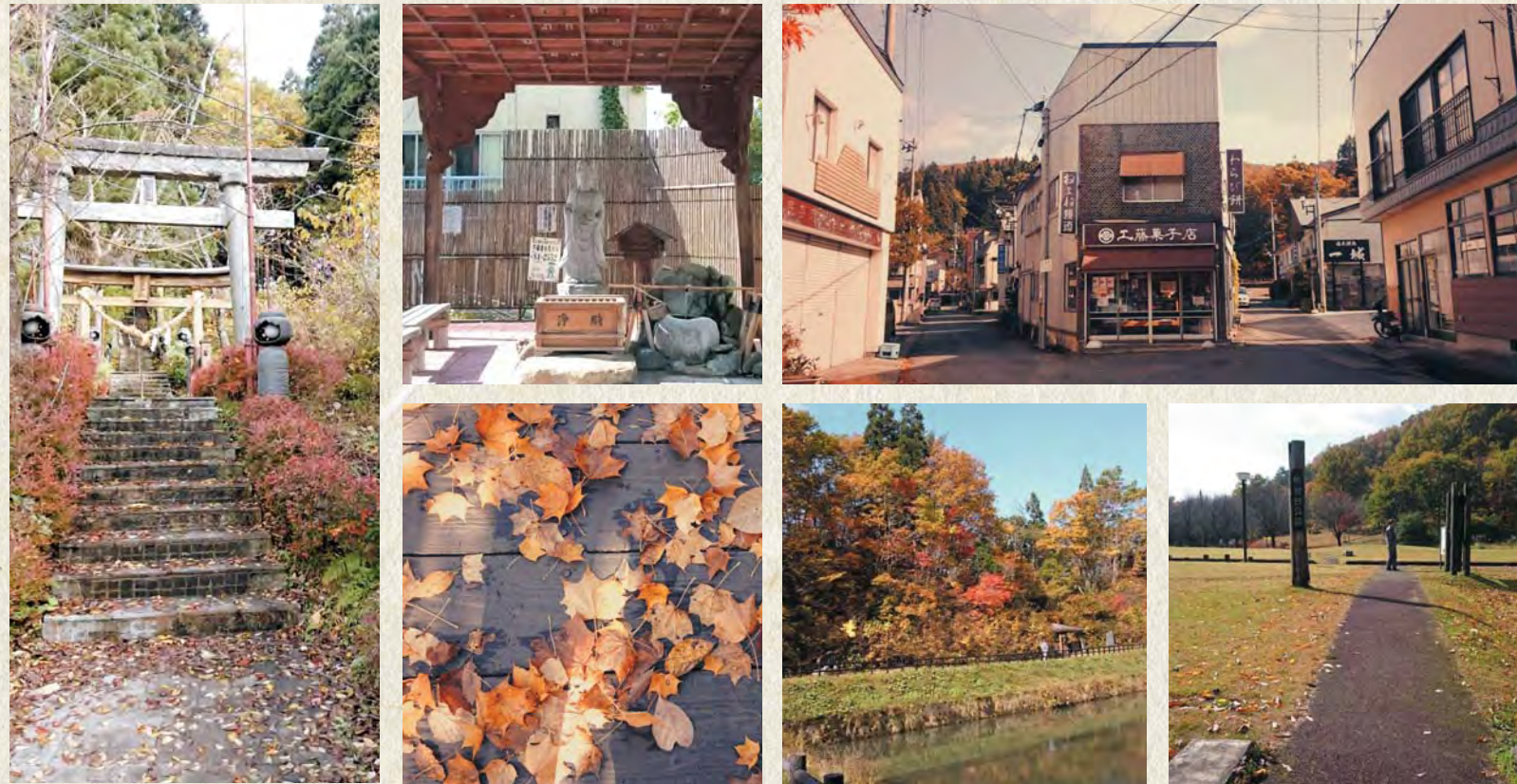
平成29年7月26日

ご寄稿頂きありがとうございました。

湯本学区情報誌「山の温泉便り」では、引き続き皆様のご寄稿を募集しています。

みなさんの知りたい情報などあればお気軽にお問い合わせください。

風景



湯本学区の人

CASE 5

ふじわら じゅん
藤原 隼さん
【湯田】

昭和 57 年 生まれの 35 歳。もともとは湯田町出身だが、今年、紫波町から移住。妻、朝子さんとは最近結婚したばかり！あつあつの新婚さん。



木工仕事を故郷で

4 歳まで湯田に住んでいましたが、父親の転勤で県内各地に住み、最終的に紫波町に移住。そこで木の器づくりを始めました。木工を始めるときは、たまたま見つけた木工書。本を参考に木のスプーンやお皿を作っていました。ある時、丸太から直接器を作る方法をネットで知り、そこから生木の器作りに没頭しました。祖父が湯田で納豆を作っていました、その工場はコンクリー

トで、木工機械のような重量物を置く環境としても最適だったことと、生まれた町、西和賀の木を使って西和賀で製作したいと思うようになったことが重なり移住を決めました。そのうちに地域おこし協力隊の方と縁があり結婚、祖父の家を一部直し、今年 8 月頃から住んでいます。自分が 4 歳以降も親と共に毎週末のように、祖父の手伝いに湯田に帰っていたので湯田から離れていた感覚がありません。

住んでなくとも湯田は故郷

趣味が山菜採りで、湯田に来る度に山に行っていました。祖父母の家のある湯田は遊び場のような楽しい思い出が多いです。そういう感覚で木の器作りをやりやすいのかもしれませんが、移住してまだ日が浅いですが、ありがたいことに昔から顔を知っている人達が周囲にいて、色々助けてくださるので生活しやすいです。

CASE 6

まさとし
高橋 正利さん
【湯田】

昭和 31 年 生まれ 61 歳 東京と湯田との 2 地域居住。西和賀町湯田（旧湯田町）出身。高校卒業後東京消防庁に就職し、消防官として勤務。3 年前巣鴨養蜂園を立ち上げた。



趣味が第 2 の人生のスタート

11 年前、銀座の養蜂イベントがきっかけで養蜂が趣味となった正利さん。自宅で日本ミツバチを飼いはじめ、多い年には 15 キロも採蜜した。一方で退職後の生き方も模索していた。故郷西和賀は自然豊かで養蜂にむいている。だが、採蜜量が少ない日本ミツバチだとビジネスには難しい。そこで西洋ミツバチの養蜂を教わり、東京消防庁を早期退職して 3 年前に「巣鴨養蜂園」を立ち上げた。

100%西和賀産のハチミツ

本屋敷地区で数十箱の西洋ミツバチの巣箱を置きハチミツを採る。「質の高さにこだわったハチミツを作りたい。」そう考えた高橋さんは、『隔王板※』を使った採蜜方法を取り入れた。

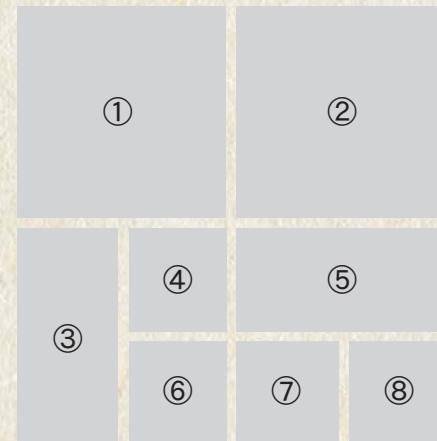
手間がかかり採れるハチミツの量も少なくなるが、ピュアなハチミツを作るためにあえて選んだという。異物の混入を防ぐため、巣箱の設置場所にもこだわる。本来の風味や栄養価がそのまま残せるハチミツは、透明で美しく美味しい。

西和賀と東京での暮らし

東京から千葉に通ってミツバチを確認する。週末は販売担当の娘さんと、都内のイベントに立つ。インターネット販売や、湯田牛乳公社での販売も始まった。

苦労は少なくないが、それ以上にやりがいや楽しさもあり幸せを感じるといふ。

- ①②湯本大橋より上流を望む
- ③湯本温泉神社
- ④湯本温泉の源泉「大湯」のそばに立つ薬泉観音
- ⑤昭和 28 年創業西和賀町を代表する銘菓「およね饅頭」西わらび粉で作った「わらび餅」のお店
- ⑥落葉
- ⑦湯本温泉句碑公園（子規の池）
- ⑧オロセの吊り橋を渡り焼地台公園へ



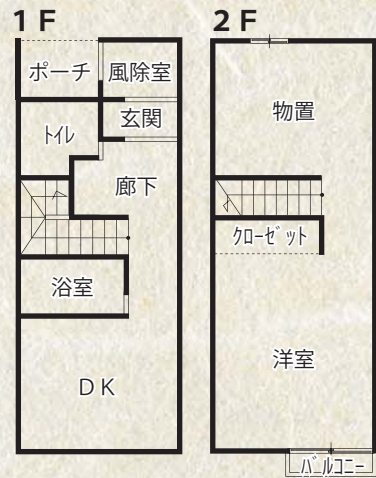
※隙間のあいた板で、巣箱を上下に仕切り、上の蜜採り専用箱と下の子育て専用箱に分けるもの。体の大きい女王蜂は上の箱に移動出来ない。卵やさなぎ、ハチの子なども混ざることがなく、働き蜂たちが上の箱に、純粋なハチミツだけを貯められる仕組み。



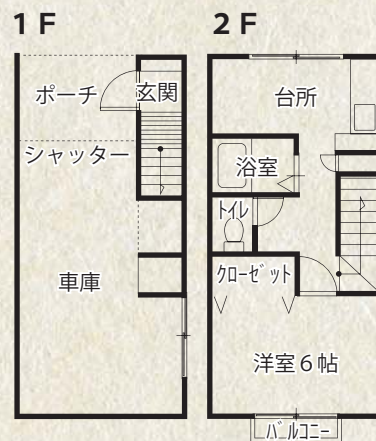
若者住宅（A・B棟）各棟に4世帯が入居できる



若者住宅（C棟）こちらも4世帯入居できる



若者住宅間取り



わかもの住宅交流会

西和賀町外出身で西和賀に住む若者たちに話を聞きました

湯本学区ふるさと交流実行委員会では、第3号情報誌を作成するにあたり『若い世代や子育て世代出身者が帰って来たい地域』を考え、どのような情報提供が必要を探ることと、これまでほとんど顔を合わせる事がなかった若者住宅との住人との交流を図ることにより地域をさらに元気にすることを目的とした交流会（意見交換会）を開催しました。



若い人のコミュニティがあるよ

こんなところに住んです！

あず

移住5年目。盛岡市出身。保健師トリプルAの1人。役場健康福祉課勤務。

あきほ

移住7年目。盛岡市出身。趣味スノボと登山。「仕事はあるよ〜」

しまだ

移住3年目。東京出身。北上のサッカー、フットサルチームに所属。結ハウス看板息子。

あさ

移住3年目。盛岡市出身。保健師トリプルAの1人。役場健康福祉課勤務。献血お願い！

なな

今年8月入居。雫石出身。趣味アーチェリー。役場生涯学習課勤務。日本酒大好き♡

山本

移住2年目。秋田出身。消防団に入った。ワークステーション勤務。

しん

移住3年目。雫石出身。趣味スノボ。ワークステーション勤務。

おかだ

移住3年目。北海道出身。湯川温泉勤務。狩猟免許保持。

はるか

移住3年目。北上市出身。趣味料理。新町住宅から転居。

れな

移住8年目。盛岡市出身。趣味スポーツ観戦。ワークステーション生活介護の仕事。

若者住宅は40歳未満の単身者を対象とし、現在は全てが町内の職場に就職する町外出身者が入居しています。交流会当日は、入居者11人中10人が参加し、実行委員会からは3名が参加となりました。

住宅の住人同士の集まりは過去に開催されたことがあるようですが、今回のような交流は初とのこと、さっそく色々聞いていきました。

聞き手 住んでみてどうですか？

ここが良かった！などあれば教えてください。

若者 家賃がとにかく安いです！収入の額に関係なく、一律2万8千円です。

若者 あとは自動でお風呂が沸くところですよ！

聞き手 逆に、困っていることは何かありますか？

若者 住宅の壁が薄いので、話し声が筒抜けになるのはちょっと…。

若者 あと、水落としても水道管が凍結する時がある！冬はどう

しても寒いですね。洗面所にお湯がこない棟もあるんですよ。凍りますよね。（苦笑）

若者 地元民が集まる中では、好奇の目で見られているように感じることもありますね。

聞き手 都市部に比べると、行事や集まりなどが多いと思いますが、そういった地域の行事等への参加や、運営の協力は可能ですか？

若者 うーん。気持ちはあるんですが、仕事が忙しくてなかなか難しいのが現状です。そもそも、このところ、休み自体とれていない状態なので…。

聞き手 実行委員会として今回参加しましたが、まずはこうして住宅のメンバーが集まる機会が増えることが大事かなと感じました。交流が持てたこと自体が大変嬉しかったですし、とても楽しい時間でした。この出会いが今後の様々な可能性に広がるのではないのでしょうか。

二次会まで残ったメンバーによる意見交換は深夜まで続きました。



わかる
わかるー



なるほどー